

令和5年10月5日（木）長野市芸術館において「日本弁護士連合会 第65回人権擁護大会シンポジウム第2分科会」が開催されました。

「地域の家庭裁判所が真に住民の人権保障の砦たりうるために」をテーマにしたシンポジウムは、各地の弁護士会による基調報告のほか、NHK解説委員 清永聡氏、前国連子どもの権利委員会委員長 大谷美紀子氏などによる講演が行われました。

この講演では、家庭裁判所の創設理念（家庭裁判所の五性格：独立的、民主的、科学的、教育的、社会的）を振り返る必要性や子どもの意見表明権に基づく子どもの最善の利益原則の実現に向けた家庭裁判所のあり方などについて、多岐にわたる話を聞くことができました。

本協議会では、平成30年9月から続けている「裁判所佐久支部の充実を求める活動」に関して、協議会設立の経緯や活動内容について柳田会長が特別報告を行いました。

全国でもまだ数が少ない地域が一体となった本協議会の活動は、参加者をはじめ、講師や弁護士の皆様からも高い評価を得ることができました。

今後においてシンポジウムをきっかけに課題を抱える他の地域との連携について活動を展開していければと考えています。



NHK解説委員 清永聡氏



前国連子どもの権利委員会委員長 大谷美紀子氏



裁判所佐久支部の充実を求める協議会 柳田会長（佐久広域連合長、佐久市長）

